

令和4年度第4回会議の概要

【令和4年度第4回会議での主なご質問・ご指摘事項】

No	委員質問・指摘事項要旨	審議会回答要旨	検討内容	
			趣旨	説明等
1	【第5章2節 水需要予測(P52～60)】 水需要予測は目的を持ってやるもので、例えば水が多い予測(上位値)は施設規模を決めるために、中位値、下位値は収入の減少を見定め、経営方針を決定するために使用する。一定値ではなく、上位値、中位値、下位値の設定はしないのか。	検討段階では様々な予測を行った上で、最も妥当性が高いと考えたものを掲載している。施設面で安全を見た水量の多いバターンの水需要予測も内部的には持っているが、今回掲載しているのは、経営面を重視した水需要予測となっている。	—	
2	【第5章2節 水需要予測(P52～60)】 施設規模を決定するための水需要予測も内部的に持っているのであれば、それも掲載すれば良いのではないのか。	検討したい。	検討	ダウンサイジングの検討内容の結果も踏まえて検討したい。
3	【資料3 4 水道施設のあり方について(P14)】 北浦配水場を廃止した場合のサービス上の差はあるのか。	水の供給に関しては、北浦配水場及び自己水を休廃止しても、水需要をまかなえるだけの施設能力はある。	—	
4	【資料3 4 水道施設のあり方について(P14)】 自己水廃止については、コスト面以外にも自己水源を持っていることに対する住民の嗜好等が判断要素に関わってくるが、北浦配水場については、純粋にコストの問題ということになるのか。	新規開発による水需要の変動も注視する必要があるが、コスト面で検討することになる。	—	
5	【資料3 4 水道施設のあり方について(P14)】 建設負担水量が変更できないのであれば、余っている自己水を止めるのが一番効率的ということは理屈では十分納得できるが、町民の感情論としては残念だという気持ちがある。	議会でも地下水を残してほしいという意見はあり、本審議会の意見を踏まえて最終的に町で判断したいと考えている。建設負担水量については、過去の経過もあるが、現在も京都府に対して見直しの要望をしており、京都府でも調整の検討をしている。	—	

No	委員質問・指摘事項要旨	審議会回答要旨	検討内容	
			趣旨	説明等
6	【資料3 4 水道施設のあり方について (P14)】 自己水について、確かに地域の貴重な資源であると考えることが多く、水に関するアンケート調査でも、そういった意識は強く出る。また、自己水源があれば、水源の複数化により非常時での対応ができるという意味もある。	—	—	
7	【資料3 4 水道施設のあり方について (P14)】 資料を見て、今後のことを考えるとコスト重視でいかざるを得ないのではないかと思う。コスト重視で、できる限り水道料金が上がらないような方針とするか、水道料金は上がるが自己水も府営水も維持するのか、町や町民の判断となる。	—	—	
8	【資料3 4 水道施設のあり方について (P14)】 町内企業からの視点で言えば、コスト重視で進んでほしい。	—	—	
9	【資料3 3 検討事項について (P12)】 令和7年度に料金が増額改定される前提となっているが、この改定で8千万円増収となるのにそれでも足りないのか。	令和7年度の料金改定については、現行の経営戦略の議論の中で、一度に料金改定をした場合、改定率が非常に高くなるため、令和2年度と7年度に分けることとしたもの。令和2年度の料金改定は、財政的に余裕のないものであり、加えて、昨今の物価高騰等によりさらに財政は厳しい状況となっている。	—	
10	【資料3 3 検討事項について (P12)】 苦しい経営状況で、あえて積極的な投資を打つべきなのか。企業では赤字が続いている状況で投資を続けることはない。	本町水道事業で見込んでいる投資については、新規投資ではなく全て更新投資であり、安全安心に安定的に水を供給するためには必要な投資である。	—	

No	委員質問・指摘事項要旨	審議会回答要旨	検討内容	
			趣旨	説明等
11	【資料3 3 検討事項について(P12)】 現行経営戦略の時には、燃料の高騰など全く予想しておらず、府営水道の件も見込めていない。予見できなかったことが起きているため、それに見合っって計画を修正するというのはやるべきことである。	—	—	
12	【資料3 3 検討事項について(P12)】 料金改定に当たっては、最低限やるべきことをやってもなお資金ショートを起こすため、料金改定が必要であるというロジックにしていかなければならない。	—	—	
13	【資料3 3 検討事項について(P12)】 企業債の設定を見直す必要もあるし、府営水道料金のさらなる上昇など、なるべくコストは見込んだ上で、資金ショートを起こさないよう料金改定が必要というロジックで検討できれば良いと思う。その上で改定率が16.9%を上回る場合は、使用者に納得いただける資料が示せるか、その前提条件を置けているかという話になる。	—	—	
14	【表紙】 例えば「町民が喜んで支える水道を目指して」など、みんなで支える、みんなで作っていくというニュアンスが出るような副題を表紙に付けてはどうか。	今後、収支計画の議論の結果を基に、基本目標や基本理念を検討する予定をしているが、「みんなで支える」という理念も踏まえて基本理念を検討し、表紙にも記載したい。	補足	次回、令和5年度第2回会議でお示ししたい。